

SDGsの実践プロジェクト ～放置竹林問題を考える～

参加学生募集!

こんな人にオススメ!

- ✓ 環境問題に興味がある
- ✓ 企業との連携に興味がある
- ✓ 地域課題の解決に関心がある
- ✓ 現場に出て実践的に取り組みたい



この授業は、SDGsのうち環境問題に関する課題に実践的に取り組む授業です。

①題材として、放置竹林問題に取り組む。

②神戸市北区大沢町をフィールドに、放置竹林の竹を伐採し、地域課題について学ぶ。

③企業と連携して、竹の利活用方法について調査検討・企画し、実践する。また、使用済み竹製品は竹炭土壌改良剤にして土に還し、循環を意識した取り組みを行う。

連携協力企業：読売テレビエンタープライズ、J:COMウェスト、剣菱など

検討中の利活用の例：竹バイオプラ製品、竹炭など

④最後に、年間の活動記録を報告書にまとめる。

申込期間： **5月22日(月)～6月16日(金)**

6月6日(火)、7日(水)、8日(木)、9日(金)

事前説明会：時間：お昼休み 12:20～12:50

場所：地域連携センター(KOREC：12号館1階)



募集人数： **10名程度** (応募多数の場合は申込の記述をみて選考します) ※原則、全てのプログラムに参加できることが条件です

定例ミーティング：6月末～学期中 隔週 **木曜日5限目** (予定)

応募方法：QRコードを読み取り、または
リンク先から (<https://forms.office.com/r/xEfaEEUK6v>)
申込フォームに必要事項を記入して送信してください。
(※Office365へのログインが必要です)



【申し込みについてのお問合せ】 地域連携センター (KOREC) 担当：家村
MAIL: korec@ml.konan-u.ac.jp, TEL: 078-435-2276 (月～金 9:00～17:00)
【内容についての問い合わせ】 全学共通教育センター 久保はるか (kubosh@konan-u.ac.jp)

主なプログラム（昨年の実績）

授業（ミーティング）の頻度は月に2回程度で、現地活動とあわせて年間15回の開催を目安とします。それにプラスして、企画の実践に取り組みます。放置竹林問題に取り組む学生の自主的な活動（「ちょっと竹」プロジェクト）は、本授業の枠外となります。時間をかけて取り組みたい人向けのプログラムです。

活動スケジュール 令和4年度（2022年）

SDGs実践プロジェクト



放置された竹林
は棚田を侵食して
しまうんだって



竹炭は土壌改良
剤にも使えるよ



2022年度の進捗

- ①読売エンタープライズ様との連携
→読売エンタープライズ様の協力で竹をベレットに加工し、その先の商品に加工する工場の選定が可能に
読売エンタープライズ様のおかげで商品化実現に近づいた
- ②商品としての課題を洗い出す
→①竹の配合率を高めすぎると食洗器で利用できない
②独特なおいがする
③既製品よりもコストが高くなる
- ③グッズ作成に関するミーティング
→お箸、スプーン、タンブラーの商品化を検討。長期的な目線で活動を開始
→値段も高すぎず普段使いをするため、ある程度需要を望むことができる。日用品であるため。